

荒れない学級をつくる | 最初の1週間スケジュール

小学校教師向け | 新学期対応

1週間の全体像

	日付	ねらい	具体的な動き
1日目	日 ()	関係づくり	安心感をつくる／学級の軸を伝える
2日目	日 ()	ルール徹底	発言・移動ルールを確認し実行させる
3日目	日 ()	習慣化	あいさつ・姿勢・発言を繰り返す
4日目	日 ()	修正	小さな乱れを見逃さずやり直す
5日目	日 ()	安定	できていることを強化／役割を持たせる
6日目	日 ()	振り返り	1週間を見直し次週の改善を考える
7日目	日 ()		

1週間チェックリスト

Checklist

✓	チェック項目	メモ
	学級の軸を伝えた。	
	ルールを具体的に示した。	
	実際にやらせて確認した。	
	繰り返しを行った。	
	小さな乱れを修正した	
	子どもを見取った	
	振り返りを行った	

やってはいけないNG例 | ここで差がつく

NG① | 最初に甘くする

最初に許すと、その基準が“当たり前”になります。
あとから厳しくするのは、ほぼ不可能です。
最初がいちばん大事

NG② | ルールを後出しする

後からルールを追加すると、不公平感が生まれます。
最初にすべて提示する

NG③ | できる前提で進める

「言ったからできる」は成立しません。
できるまでやる

NG④ | 小さな乱れを見逃す

私語・姿勢・反応のズレは、放置すると広がります。
小さいうちに止める

NG⑤ | 先生がブレる

日によって対応が違うと、子どもはすぐに気づきます。
判断基準を固定する

NG⑥ | 1人で抱え込む

対応に迷ったとき、1人で考えるとズレやすいです。
周りに相談する

うまくいく先生の共通点

うまくいく先生はここが違う

- 最初の3日を設計している
- ルールを具体で伝えている
- 繰り返しを徹底している
- 小さなズレを見逃さない
- 環境を整えている

共通点はシンプル

「感覚」ではなく「準備」で動いている